

項目	内容
名称	センナ、アレキサンドリアセンナ、チンネベリセンナ [英]Senna、Alexandria SennaあるいはTinnevelly Senna [学名]Cassia acutifolia Delile. (和名：アレキサンドリアセンナ) あるいはCassia angustifolia Vahl. (和名：チンネベリセンナ)
概要	センナは、アフリカ原産でアラビアからインドに分布するマメ科の常緑低木である。豆果は扁平で長楕円形、暗褐色であり、中に8～9個の扁平倒卵形の種子を生じる。中国では番瀉葉 (バンシャヨウ、fan xie ye) といい、チンネベリセンナを狭葉番瀉、アレキサンドリアセンナを尖葉番瀉といい、小葉を生薬として用いる。生薬のセンナは有効成分としてセンノシドを含み、古くから下剤として便秘の改善とそれに伴う頭痛、のぼせ、肌荒れ、痔の改善などに使用されてきた。果実・小葉・葉柄・葉軸は医薬品に該当し、食品に使用可能な部位は茎のみである。食品として違法に葉を含有し、ダイエット効果を謳った商品 (茶類) が販売された事例がある。食品としての利用が許可されている茎については信頼できる十分な情報が見当たらない。
法規・制度	<p>■食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茎：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 ・果実、小葉、葉柄、葉軸：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■日本薬局方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センナが記載されている。 <p>■食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト センナが記載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・センノシドA、Bが含まれる。センナ葉 (葉軸・葉柄を含む)、センナ鞘・花・緑の外皮のある茎にはセンノシドが含まれ、センナ種子・根・木化した茎にはセンノシドがほとんど含まれないという報告がある (112)。
分析法	・センノシドAおよびBを、C18カラムを用いてHPLCにより分析した報告がある (PMID:12093522)。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	RCT ・慢性便秘の3～12歳の小児 (アメリカ) を対象とした無作為化比較試験において、センナと濃縮鉍物油を比較したところ、6ヶ月でセンナは鉍物油と比べて不随意な大便失禁の減少に影響は認められなかった (25) (PMID:6310075) 。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(25) クリニカル・エビデンス日本語版 日経BP社 日本クリニカル・エビデンス編集委員会
(58) The Complete German Commission E Monographs
(61) WHO monograph on selected medicinal plants WHO
(67) ESCOP Monographs 2nd ed Thieme
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(PMID:6310075\) J Pediatr Gastroenterol Nutr. 1982;1:223-6.](#)
[\(PMID:12093522\) J Pharm Biomed Anal. 2002 Jul 31;29\(5\):881-94.](#)
(101) Tentative Final Monograph. Federal Register 1985;50(10):2124,2151-8.
(102) Handbook of Nonprescription Drugs. 11th ed. Washington, DC: Am Pharmaceutical Assn, 1996
(103) Coordinated review of monographs on herbal remedies. Brussels, European Commission, 1994
(104) British Herbal Compendium, vol.1. Bournemouth, British Herbal Medicine Association, 1992.
(105) US pharmacopeia, drug information. Rockville, MD, US Pharmacopeial; Convention, 1992.
(106) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店
(107) 医療用医薬品集 2006 (財)日本医薬情報センター
(92) 現代中薬薬理学 天津科学技術出版社
(2004010268) 皮膚の科学. 2003;2(3):179-82.
(2001233681) 皮膚科の臨床. 2001;43(4): 570-1.
(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン
[\(112\) 東京都薬用植物園ホームページ](#)
(2006274130) 小児科臨床. 2006;59(6):1081-7.
[\(PMID:22431792\) Arch Dermatol. 2012 Mar;148\(3\):402-4.](#)
(2011185873) 日本皮膚科学会雑誌. 2011;121(3):572.
[\(PMID:15492352\) Ann Intern Med. 2004 Oct 19;141\(8\):650-1.](#)
[\(PMID:15956233\) Ann Pharmacother. 2005 Jul-Aug;39\(7-8\):1353-7.](#)
[\(PMID:18313506\) Lancet. 2008 Mar 1;371\(9614\):784.](#)
[\(PMID:26758346\) J Gastroenterol Hepatol. 2016 Jun;31\(6\):1069.](#)
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)